



# 梅毒増加、進行中!!

梅毒が急増しています。全国の届出数は 2011 年から増加していましたが、本年 10 月には 1999 年の統計開始以来、初めて 10,000 人/年を突破しました。  
(厚生労働省 感染症発生動向調査集計より)

## 梅毒とは？

梅毒トレポネーマというらせん状の細菌による感染症です。主に性行為等の粘膜と粘膜との接触により、保菌者から感染します。また、感染した妊婦から赤ちゃんへの感染も報告されています。

感染から 3~6 週間後に、感染部位に小豆大のしこりができます。通常はしばらくするとこのしこりは消えますが、さらに 4~10 週間後に、発疹や熱、だるさなどの多様な症状が現れます。薬物治療により完治が可能ですが、完治後も再感染するため注意が必要です。

## 徳島県の梅毒発生状況

2015 年以前は年 1~3 件程度でしたが、2016 年を境に年 11~31 件と著しい増加を見せています。本年はそれを上回るペースで発生数が増えており（棒グラフ参照）、11 月 27 日の時点で 65 件に達しています。

2011~2021 年までの発生数と本年の発生数の年齢層の内訳を見ると、20 代と 50 代が大きく増えています（円グラフ参照）。

## 県による梅毒の検査

県内の各保健所で、相談や検査（**事前予約制**）を行っています。検査は採血のみ行い、結果を約 2~3 週間後にお知らせします。

ご予約の窓口は[県ホームページ](#)からご確認ください。

